

2020年12月4日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

東急株式会社が発行するサステナビリティボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、東急株式会社が発行するサステナビリティボンド⁽¹⁾（5年債、100億円）の引受けにおいて共同主幹事を務め、本日、同サステナビリティボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

東急グループは、グループスローガン「美しい時代へ」を普遍的な価値基準と認識し、創業以来、鉄道事業を基盤とした「まちづくり」を通じて、社会課題解決と事業成長の両立を目指しています。2018年度からの現中期3か年経営計画では、6つの「サステナブル重要テーマ」を特定して取り組んでおり、合わせて2019年9月に発表した長期経営構想において、2050年目線で「東急ならではの社会価値提供による“世界が憧れる街づくり”」の実現を目指しています。また、2019年10月には日本で初めて鉄軌道事業を含む企業グループとして「RE100」に加盟し、2050年までに事業で使用する電力を再生可能エネルギー100%で調達し、CO2排出量ゼロを目指しています。

本サステナビリティボンドは、適合性と透明性の確保及び投資家への訴求力向上のため、グリーンボンド原則2018、ソーシャルボンド原則2020、及びサステナビリティボンド・ガイドライン2018に基づき策定されたフレームワークに基づき発行され、世界的なESG評価機関であるヴィジオアイリス（Vigeo Eiris）より適合性に関するセカンドオピニオンを取得しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするサステナビリティボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本サステナビリティボンドの概要)

名	称	東急株式会社第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付） （サステナビリティボンド）
発 行 年 限	：	5 年
発 行 額	：	100 億円
利 率	：	0.110%
発 行 日	：	2020 年 12 月 10 日
償 還 日	：	2025 年 12 月 10 日
資 金 使 途	：	「新型車両」、「鉄道関連インフラ整備（ホームドア等）」、 「南町田グランベリーパーク」、「サテライトシェアオフィス （NewWork）」に要した支出のリファイナンスに充当予定
取 得 格 付	：	AA-（株式会社日本格付研究所） A+（株式会社格付投資情報センター）
主 幹 事	：	野村証券株式会社、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式 会社、みずほ証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株 式会社

- (1) サステナビリティボンドとは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）
が定義する「サステナビリティボンド・ガイドライン（Sustainability Bond Guidelines）2018」に則し
た債券

以上